

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 40》2016年6月発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎  
[horisyunro@pref.oita.lg.jp](mailto:horisyunro@pref.oita.lg.jp)

もうすぐ梅雨というこの頃、暑い日が何度か続きました。5月23日には、大分市で今年初の真夏日(31.1℃)となり、その日は、日田で全国2位の最高気温(34.1℃)でした。台風がまだ発生していないのも18年ぶりということで、この夏は台風が多くなるという話もあります。今月からは、What's up, OITA! の英語版、中国語版、韓国語版も配信します。是非ご期待ください!



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



## 大分県の海外関連施策について



企画振興部  
芸術文化スポーツ局  
局長

**土谷 晴美**  
(Harumi Tsuchiya)

みなさん、こんにちは。芸術文化スポーツ局では、芸術文化、スポーツの分野で様々な海外関連施策を展開しています。芸術文化では、マルタ・アルゲリッチが総監督を務める別府アルゲリッチ音楽祭や大分アジア彫刻展のほか、昨年開館した県立美術館は、国際的な賞(LCD Awards2015)をいただきました。また、2018年には国内最大の文化の祭典である国民文化祭も行われます。

スポーツでは、2019年にラグビーワールドカップが大分銀行ドームで開催されることになっているほか、東京オリンピック・パラリンピックを見据えたキャンプ誘致にも積極的に取り組んでいます。

本県では、このようなビッグプロジェクトを世界中からお客様を迎える絶好の機会と捉えていますので、皆様方には、大分県をご家族・友人・知人にPRしていただくとともに、この機会に是非大分へお越しく下さい。



芸術文化スポーツ局  
芸術文化振興課  
課長

**佐藤 文博**  
(Fumihiro Sato)

【連絡先(Mail)】

[sato-fumihiro@pref.oita.lg.jp](mailto:sato-fumihiro@pref.oita.lg.jp)

大分県の芸術文化行政を担当しています佐藤です。よろしくお願ひします。

本県では、人気、実力とも世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチを総監督に迎えた「別府アルゲリッチ音楽祭」を毎年、別府市、大分市などで開催しており、今年で18回目を数えました。昨年5月に竣工した「しいきアルゲリッチハウス」における良質な音響環境でのスペシャルコンサートなど、今年も超一流の音楽による癒やしを私たちに提供してくれました。

そして、今年度は、この別府アルゲリッチ音楽祭とその舞台である大分県を世界に向けてPRし、海外からの誘客を推進してまいりたいと考えています。

音楽祭以外にも、アジアの新進彫刻家の登竜門としてビエンナーレ方式(隔年)で開催している大分アジア彫刻展もあります。開館1周年を迎えた県立美術館(OPAM)も様々な企画展でチャレンジを続けています。

2年後に開催します「第33回国民文化祭・おおいた2018」に向け、本県の芸術文化のさらなる展開にどうぞご期待ください。

## 注目記事① 外国人留学生受入状況(平成27年度)



平成27年5月1日現在の県内の外国人留学生の状況を分析し下記のとおり発表しました。世界77カ国・地域から3,380人の留学生が大分県で学び、生活しています。また、都道府県別の人口10万人当たり留学生数※では、2年ぶりに京都府を上回り、再び日本一となりました。

- ① 都道府県別人口当たり留学生数は全国第1位
- ② 留学生数では全国 第10位
- ③ 大学別留学生数では、立命館アジア太平洋大学が全国第4位
- ④ 県内の出身国別留学生数 第1位 中国944人、第2位 韓国626人、第3位 ベトナム441人



※留学生数…短大・大学院を含む大学及び高等専門学校に在籍する留学生

## 注目記事② 海外からの来県者



今年のゴールデンウィークにおける県内観光については、地震の影響もあり、観光施設の入場者数は前年比52.6%、宿泊客数は64.7%と落ち込みましたが、5月はクルーズ船の入港や訪日教育旅行の受入れがあったほか、欧州メディアやシンガポールVisit Japan大使を招請し、大分県の元気や魅力を発信しました。

### クルーズ船3隻が寄港



大型クルーズ船「ゴールデン・プリンセス」(10万8865トン)が、別府市に初寄港しました。

香港、台湾、タイ、米国など24カ国・地域の2,152人が乗船しており、観光バス40台に分かれて別府市や由布市の観光を楽しみました。5月は、「レジェンド・オブ・ザ・シーズ」(6万9130トン)、「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ」(13万7276トン)も寄港しています。

### 台湾の高校生が高校訪問



台湾の荘敬(チュウアン ジン)高級工業家事職業学校の生徒16名が県立日田三隈高等学校を訪問しました。調理実習体験を行ったほか、日田三隈高校ギターマンドリン部による歓迎の演奏や荘敬生徒によるパフォーマンスにより、交流を深めました。

### Visit Japan大使ジョージ・リム氏が来県



在シンガポールVisit Japan大使のジョージ・リム氏が由布院、別府を訪れました。由布院では箸づくり体験に、別府では地獄蒸しに興味を引かれました。また、「シンガポール・マレーシア訪日旅行市場に関するセミナー」を開催し、情報発信の仕方や最新の訪日旅行の動向についてお話をいただきました。

### フィンエアー関係欧州メディアメンバーが来県



福岡空港にフィンランド航空の直行便が就航したことを契機に、欧州への情報発信を強化するため、欧州メディアを招請しました。

地獄めぐりなど大変気に入った様子で、同行した航空会社責任者から「今度プライベートで妻と一緒に大分に行くことを約束した」とお礼メールが届きました。

## 別府市・由布市の旅館ホテル営業について(5月30日現在)

別府市旅館ホテル組合加盟旅館112のうち、111施設が営業中です。由布院温泉旅館組合加盟施設91のうち、82施設が営業中です。

ツーリズムおおいたHPを元に作成 <http://www.visit-oita.jp/news/detail/43> <http://www.visit-oita.jp/news/detail/42>

## 注目記事③ 第18回別府アルゲリッチ音楽祭

5月1日から26日にかけて、第18回別府アルゲリッチ音楽祭が開催されました。熊本地震により開催も危ぶまれましたが「音楽が心の平穏に貢献できる」と来県したアルゲリッチ総監督を中心に、今年も多く聴衆を魅了しました。

「平和と音楽」をテーマにした今年の音楽祭では、広島交響楽団との協演や、アルゲリッチとワディム・レーピン（ヴァイオリン）の国内初協演、昨年竣工した「しいきアルゲリッチハウス」での



スペシャルコンサートなど多彩な演目が繰り広げられました。そして、紀尾井シンフォニエッタ東京と協演した東京オペラシティ公演では、皇后陛下のご臨席を賜り、華々しい感動に包まれました。

音楽祭終了後も「しいきアルゲリッチハウス」では、国内外の優秀な音楽家による演奏会を予定しています。どうぞご期待ください。

詳細はこちら→ <http://www.argerich-mf.jp/haus/>

【芸術文化振興課】

## 注目記事④ 湯けむり発電システムの普及が期待されています

再生可能エネルギー自給率日本一の本県では、地熱・温泉熱を余すことなく徹底的に活用するための取組を進めており、その一環として、大分県農林水産研究指導センター農業研究部花きグループに、保有する温泉井を活用した「湯けむり発電システム」を導入しています。

このシステムは、地場企業により開発された、熱水と蒸気の両方を利用する「トータルフロー発電」という全く新しい技術を



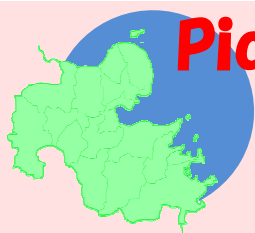
〔湯けむり発電システム〕

採用しており、新たな掘削がいらず、既存の温泉井をそのまま利用することが可能なため、大規模地熱発電と違い、導入が比較的容易です。

また、熱水と蒸気をそのまま利用する非常にシンプルな構造であるため、省スペース、設置・メンテナンス費用の低コスト化などのメリットがあります。

国内外はもちろん、再生可能エネルギー導入を推進している台湾からも注目されており、今後の普及が期待されます。

【工業振興課】



**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（5月）



## 【5月1日(日)】日本パラ陸上でアジア新記録・日本新記録

第27回日本パラ陸上競技選手権大会にて由布市庄内出身の中西麻耶選手(県身障者陸協)が、走り幅跳び(T44)でアジア新記録の5m51cmを記録し優勝しました。また、坂元智香選手(県身障者陸協)が女子砲丸投げ(F55/3キロ)で4m39cm、円盤投げ(F55/1キロ)で4m8cmで日本記録を樹立しました。大分市在住の廣道純選手(プーマジャパン)は男子100m及び400m(T53)で優勝しました。



## 【5月5日(木)】かぼすハイボールと椎茸入り麦茶が発売



県産のかぼすを使用しすっきりとした酸味と香りに仕上げた辛口「かぼすハイボール」と、粉碎・焙煎した県産椎茸を九州産大麦とブレンドした「こだわり麦茶 大分県産しいたけ入り」(ノンカフェイン)をJAフーズおおいたが発売しました。製品完成まで一年かかり、深い味に仕上がっています。



## 【5月7日(土)】再生可能エネルギー自給率全国1位(2014年)

千葉大学倉阪研究室とNPO法人環境エネルギー政策研究所は、再生可能エネルギーの供給実態に関する全国調査の中で、地熱発電が豊富な大分県が38%と全国1位、市町村別でも自給率200%を超える九重町が圧倒的な1位を維持しました。総供給量は2万3682テラジュールで、太陽光発電施設の増加で10%増えました。



## 【5月21(土)、22日(日)】日田川開き観光祭が開催



第69回となる日田川開き観光祭が日田市中心部や三隈川周辺で様々なイベントとともに開催されました。咸宜小学校前から竹田公園までを歩く「音楽大パレード」、市内39団体が出演した「水郷日田どんたくカーニバル」、日田で活躍中の団体が集結した「観光祭ミュージックフェスティバル」等の賑やかな催しがあり、2日間で約1万発の花火もあがりました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成



## 県職員が研修で英国へ



国際政策課の難波です。総務省の「地方公務員海外派遣プログラム」により、英国をはじめ欧州各国で研修を行います。研修では、英語学校へ通うほか、物産、観光、大型スポーツイベントを通じた地域振興をテーマとした研究を行います。大分県の国際施策に貢献できるよう、知見を広めて参ります。

# From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング  
(Miriam Starling)  
県国際交流員  
英国  
[pu101503@pref.oita.jp](mailto:pu101503@pref.oita.jp)

私の大事な友達がイギリスから日本に来て観光しました。大分県・長崎県・熊本県(阿蘇山と熊本市)の旅行を計画しましたが、熊本地震のために、熊本県の日帰り旅行をキャンセルして、思ったより大分県で長い時間を過ごしました。大分県も、地震の被害がひどくて、どこに行っても、人々に「いつもに比べて、観光客が少ないですね」と言われました。それでも、大分県で非常に楽しい時間を過ごせることができました。別府の温泉、湯布院の町歩きと露天風呂、白杵石仏、大分県立美術館、杵築市着物体験、グルメなど、色々楽しみました。ある晴れた日に、国東半島めぐりのバスツアーをしました。色々な寺と宇佐神宮にも行きました。特に印象に残ったのは、長くて険しい階段を上って、汗をかいて、上り詰めて、やっと熊野磨崖仏を見たことでした。この大きい石仏はイギリスで絶対に見られないものなので、感動しました。(ちなみに、降りたら、「お疲れのアイスクリーム」を食べました)。



今回は友達と二回目の日本の旅ですが、九州が初めてでした。空港で見送ったとき、「日本の素晴らしい所に住んでいるね」と言ってくれました。海外にいる九州のファンが増えたようです。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.lg.jp](mailto:pu101502@pref.oita.lg.jp)

着物体験をしに杵築市に行ってきました。着物体験をするのも杵築市に行くのも初めてでわくわくしました。

レンタル着物屋には色とりどりの着物がたくさん並んでいて、優柔不断な私は着物を選ぶにも時間がかかってしまいました。帯やカバンなどすべて自分で選ぶのがおもしろかったです。きつき城下町では和服を着ていると武家屋敷や資料館などの施設が無料で見学できます。その施設をいろいろ見て回ったり、写真を撮ったりしていたら時間があっという間に経っていました。この日は天気も良く散策日和で、着物姿で古色豊かなきつき城下町を散策しているとまるで江戸時代にタイムスリップしているような気分になりました。



次回は韓国の友達を連れて行きたいです!



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

日出に行ったことが一回しかなく、今月は日出城に行きました。日出城は江戸時代に建てられましたが、平成に復元されました。とても優しい案内者の話によると、明治時代の政府が城を破壊する命令をしました。その話を聞いて、城より城跡が多い理由がわかりました。

城址の鬼門櫓に入ると、小さな博物館があります。城の細長い隙間のある窓から見つめれば、昔と同じように敵が寄ればすぐわかります。そのため、奇襲される可能性はありませんでした。戦国時代の後で、このような特徴は便利でしょう。



現在、昔に城が位置した一部は小学校となり、普通は小学生は敵とは考えられていないので、この特徴は今大切ではないかもしれません。しかし、全てが変わっていません。小学校の向こうに、いつもと同じように別府湾の美しい自然が見えます。



章 羽紅  
(Yuhong Zhang)  
県国際交流員  
中国  
[pu101501@pref.oita.jp](mailto:pu101501@pref.oita.jp)

週末の娘の誕生日をキティーちゃんに祝ってもらうために、ハーモニーランドに連れて行きました。

子供から大人まで楽しめる施設でとても楽しかったのですが、震災後という理由からか、客数が少なかったです。どの施設も列に並ぶことなく、同じ施設を何回も楽しむことができました。実際にハー



モニーランドの敷地内またその周辺は地震の被害の形跡がなく、いつもどおりの生活をしているように思われました。早くお客さんが戻ってくるといいのですが・・・

ただ一つ不便に感じたことがありました。日出駅から出て、バスでハーモニーランドへ行こうと思いましたが、二時間以上バスが走っていないようです。仕方なく、タクシーで行きましたが、予想外の出費になってしまいました。帰日もバスを待つのに一時間ほどかかりました。バスで15分以内の距離ですが、バスがあまり走らないことは車の持っていない観光客にとってはとても不便なことです。

## なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【佐伯市／白杵市】



(佐伯市)  
「櫓門(きぐらもん)」  
豊後佐伯城(鶴屋城)の遺構、昭和51年県重要文化財指定



(佐伯市)  
「唄げんか大橋」  
官崎県との県境付近の北川ダム湖の橋。近くには道の駅宇目



(白杵市)  
「味噌・醤油」  
江戸末期から主要産業として醸造業が盛ん



(白杵市)  
「白杵城跡」  
1560年頃大友宗麟が築城。別名、丹生島城または亀城

## 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】  
国際政策課 担当:野田  
【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

